



自分と向き合う

トライアスロンとの出会い

きっかけは、小学1年生の時、友人のお母さんのひと言でした。「トライアスロンでもやってみたら?」。当時は、トライアスロンを知りませんでしたが、「やってみたい!」とすぐに大会参加を決めました。結果は、初出場3位。「つらかったけど、それ以上に楽しかった。ゴールしたときの『あ



トライアスロンは、水泳(スイム)・自転車(バイク)・ランニング(ラン)の3種目を連続して行う競技です。このスポーツに魅了され、現在、「オールキッズトライアスロン大会」を5連覇中のアスリートがいます。



の瞬間』が最高だった」。翌年、2年生で出場した『オールキッズトライアスロン大会』で初優勝。「もっと強くなりたい!」とさらに夢になりました。

上部と帰宅後のスイミング、週末には独学でバイクの練習をします。「練習内容も、レース運びも全て自分と話し合い、自分で決めていきます。個別の競技では、トップは難しいかもしれませんが、3つが合わさり『トライアスロン』になったとき、自分は大きな力を発揮することができると思っています」

もっとたくさんの人に

「トライアスロンは3種目をこなすため、過酷だと思われがちです。でも実は、『泳ぐ、自転車をこぐ、走る』という身近なスポーツの組み合わせ。子どもから高齢者まで誰もが参加できるスポーツです。もっとたくさんの人にトライアスロンの楽しさを知ってもらい、競技人口が増えたらと思っています」

常識に縛られないレース運び、そして何よりトライアスロンが好きで、勝つための努力を惜しまない、そこに彼の強さがあります。杏夢さんの目標は、「7月の『U15日本選手権大会』で優勝すること。そして、いつかオリンピックに出場し、金メダルを獲りたい」。

努力をすれば結果が出る

トライアスロンのチームには所属していない杏夢さん。平日は陸

界へ大きく羽ばたいてください。



おおむら あむ 大室 杏夢さん

(藤中学校2年生/陸上部所属、スウィン坂戸スイミングスクール所属、JTUトライアスロン・ジュニア強化指定選手)

2017オールキッズトライアスロン大会優勝
日本U15ジュニアトライアスロン選手権 6位

「憧れの選手は上田藍選手。いつも笑顔でとにかく前向き。トライアスロンに取り組む姿勢やファンを大切にすることを尊敬しています」

編集後記

小学生の頃、夏休みには毎日地域でラジオ体操をやっていました。当時は、何となく行っていました。実はラジオ体操には色々な健康効果があるんですね。まだ若いから大丈夫!ではなく、若いうちからの積み重ねが大切なようです。45年も継続されている方がいらっしやるなんて!今から45年...できるかな(汗)。ご意見・ご感想は秘書広報課広報聴担当へ
✉ 10200001@city.tsurugashima.lg.jp



笑顔の天使

“お花見♪”

みわたか 三輪穂嵩ちゃん
(1歳9か月)

応募は市HPから

